



郡山市上下水道局が東北電力ネットワーク株式会社、第一環境株式会社と  
水道・電気計器による共同検針における  
DX活用の実証実験に関する協定を締結します。



ターゲット 6.1, 6.b

令和3年5月28日

郡山市上下水道局  
お客様サービス課  
担当：高橋 賢治

TEL：932-7666

SDGs ターゲット 6.1 「2030年までに、全ての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ衡平なアクセスを達成する。」

6.b 「水と衛生に関わる分野の管理向上における地域コミュニティの参加を支援・強化する。」

業務効率化と利用者サービスの向上のため、無線通信により水道使用量等を自動で検針することができる水道スマートメーターの共同検針の実証実験について、東北電力ネットワーク株式会社及び第一環境株式会社と協定を締結します。

- 1 日時 令和3年5月31日(月) 午前11時30分から
- 2 場所 郡山市役所秘書課第二応接室（本庁舎2階）
- 3 出席者

協定締結者

郡山市上下水道局 上下水道事業管理者 村上 一郎

東北電力ネットワーク株式会社 郡山電力センター 所長 菅野 淳

第一環境株式会社 代表取締役社長 岡地 雄一

立会人

郡山市長 品川 万里

4 連携事項

- (1) 検針等業務の効率化及びその実現に資する給水装置等関連業務の技術に関することについて、連携し協力する。
- (2) 漏水の早期検知や見守り等の利用者サービス向上により、高齢世帯の生活支援の拡充に努める。
- (3) 電気・水道の検針員が削減されることで、人口減少による労働力不足の社会的問題の解決に寄与する。

<水道・電気機器による共同検針の実証実験>

東北電力ネットワーク株式会社、第一環境株式会社及び郡山市上下水道局により、共同で実施いたします。

市内13箇所において、上下水道局が実験協力者の同意のもと、電子式水道メーターを設置し、第一環境株式会社が無線通信端末の接続を行い、東北電力ネットワーク株式会社が電気機器の準備及び電力スマートメーターの通信回線を利用して、検針値等の情報の提供を行います。通信品質や水量データ等を検証し、今後の導入に向けた基礎データとして活用いたします。